



週報

ロータリーは機会の扉を開く

2020～2021年度国際ロータリーのテーマ

No.01297 2021.3.15 第21例会



◆本日のプログラム

3月15日(月)
外部卓話
「新型コロナウイルス
感染症への対応について」
新見公立大学 副学長
岡山大学名誉教授
小田 慈 様(岡山中央RC)

◆次回のプログラム

3月22日(月)
内部卓話
「子どもシェルターモモの
これからの10年について」
野田 洋市 会員

Rotary Opens Opportunities

◆理事・役員 (2020.7～2021.6)

会長 平松 信
副会長 相原 利行
幹事 鈴木 一生
副幹事 久松 哲生
理事・S.A.A. 野田 洋市
副S.A.A. 児島 正典

会計 西岡 貞則
理事・職業奉仕 橘 高正剛
理事・社会奉仕 原 全伸
理事・国際奉仕 小菅 英司
理事・青少年奉仕 鴨井 利典
理事・会員増強 竹本 千代子

理事・プログラム 入江 直人
理事・親睦活動 福元 裕之
理事・ロータリー財団 小松 忠男
直前会長 山下 浩一
次期会長 岡本 浩三

地区のスローガン 「こころの扉を開こう」

クラブのスローガン 「こころを一つに」

岡山北西ロータリークラブ

●例会場 岡山市北区駅元町1-5 ホテルグランヴィア岡山

●例会日 毎週月曜日 12:30～13:30

国際ロータリー 第2690地区 第9グループ

事務所 〒700-0902 岡山市北区錦町1-8 岡山県木材会館4階

TEL (086) 222-9590・222-0384 FAX (086) 224-4288

E-mail : hokusei@ok6rc.jp <http://okayama-hokusei-rc.jp>

友好クラブ 京都朱雀ロータリークラブ

E-mail: suzakurc@mbox.kyoto-inet.or.jp

外部卓話

「外国語を学ぶプロセス」

米山奨学生 グエン ティ マイ フオン 様



1.挨拶とお礼

環太平洋大学経営学部現代経営学科4年生のグエン・ティ・マイ・フオンと申します。本日は私が出席できる最後の例会になります。スピーチをさせていただく前に、岡山北西RCの皆様にお礼を申し上げたいと思います。

ロータリー米山奨学生になってから、約一年間が経とうとしています。この一年間岡山北西RCの皆様、特にカウンセラーの野田洋市さんに大変お世話になりました。コロナウイルスの感染拡大の影響のため、数回の例会が中止されて、本当に残念でした。だからこそ、出席できる毎回の例会を楽しみにして、無駄にしないよう積極的に参加しました。岡山北西RCの皆様と一緒に食事しながら交流させていただいた事、卓話を聞かせていただいた事、そして私のスピーチを聞いてくださり、本当にありがとうございました。



2.外国語を学ぶプロセス

本日の最後の例会に何についてスピーチすればよいかよく考えました。前回、自分の出身地、日本の留学で経験したことと卒業研究の内容も皆さんに紹介しました。今回は自分の外国語を学ぶプロセスについて話したいと思います。理由としては、最近振り返ってみると自分の16年間の修学期間の中で一番時間を費やしたのは外国語を学ぶことだと気づいたからです。

私が初めて外国語、具体的には英語と接触したのは小学1年生の時です。その時点、ハイフォン市にあるすべての小学校が英語を教えているわけではありませんでした。現在考えますと、そんなに小さい頃から外国語を勉強するチャンスがあったことは自分にとって本当にラッキーなことでした。そして私の父親に対して心から感謝します。先ほど言った通り、小学校に行き始めたとき、ハイフォン市のすべての小学校がカリキュラムに英語授業を含んでいたわけではありませんでした。同じ学校でも、英語授業があるプログラムと英語授業がないプログラムに分かれました。私の学校はダブル・プログラムを行っていました。もちろん、英語授業があるプログラムの方は授業料が高かったです。

後になってから、なぜ授業料が高額だったのに、父が外国語プログラムを受けさせようとしてくれたのか、その理由がわかりました。私が小学校に行き始めた2004年は、米国とベトナムが正式に両国の外交関係を正常化してから約10年後のことでした。アメリカ、そして一般的に英語圏の国に留学するベトナム人がだんだん増加していました。父は、将来、私が海外に留学することによって、より先進的な教育を受ける機会を得られることを望んでいました。そのため、外国語、特に世界中でよく使われている英語を話せることが鍵の一つであり、私が自分の鍵を見つけるようにいつも全力で応援すると父は言ってくれました。

外国語を学ぶのに大切なのは明確な目標です。私が小学生の時、父は市内の有名な英語センターで勉強させてくれました。父の目的は、私が英語に触れる時間を増やすことだけでなく、実は当時(実をいうと現在もそうですけど)学校での外国語の学習がほとんど文法に注目していることに父が気づきました。そのため、実際に英語でコミュニケーションをとってほしいと父が思っており、ネイティブスピーカーがいる英語センターで勉強させてくれました。しかし、当時、私はまだ子供なので、父の考えが理解できなかったし、自分がなぜ英語を学ぶかも考えなくて、勉強にあまり集中していませんでした。おそらく、これらの英語センターで勉強することから得られた最大の利点は、ネイティブスピーカーと英語でコミュニケーションすることへの恐れがなくなったことだけです。したがって、興味や明確な目的なしに外国語を学んでも、進歩しにくいと分かりました。

私が本当に英語に対する興味を持ったのはアメリカのディズニーチャンネルで子供向けの番組をいくつか見た後でした。その時、家計が良くなり、父は屋内のテレビにケーブルテレビサービスを導入することにしました。それらのテレビ番組は私を完全に異なる世界に連れて行ってくれました。ベトナム語で吹き替えられている他のチャンネルと違って、ディズニーチャンネルは字幕システムを使用しているので、画面上の字幕テキストと聞いた内容を比較しながら英語を聞くことができます。テレビの登場人物のセリフを真似て、歌に合わせて歌って、英語を自然に使いました。こういう方法で英語を毎日練習して、外国語の学習への興味を取り戻すことができました。その後、外国語を学ぶための良い方法をもっと調べたとき、私がやった行動は「模倣」と呼ばれる方法だと分かりました。言語を学ぶことは本質的に、その国の人が彼らの言語をどのように使うかを模倣すると理解できるようになりました。

それまでは、英語を何のために学んでいるのか、その目的をまだ明確には言えなかったですが、少なくとも私は英語を学ぶことを楽しんでいました。その目的を本当に見つけたのは、中学生になったときでした。

私が中学生になるまでに、英語がベトナムの教育プログラムにおいて、ますます重要になり、12年間の高等教育の必修科目になりました。そして、中学生になってから、学生の皆が高校入学の準備をはじめます。これは学生時代の最も重要な試験の1つだと言われました。ベトナムでは、中学4年生が毎年6月に市内の高校入学試験に参加する必要があります。当時、市内のトップ公立高校に入学できることは、今後3年間の教育の質を保証されることと将来、国内の有名な大学に入学できることや、海外に留学できることなどの機会をもたらすと言われていました。

私は英語を学ぶことに興味を持っており、市内で最も有名な高校の1つであるTranPhu高校の英語クラスへの入学試験に合格することを目標に設定しました。TranPhu高校には、数学クラス、化学クラス、国語クラスなど、多くの科目を専門的に学習するクラスがあります。この学校に入学するためには、基本的なレベルの数学、国語、英語のテストを受験するだけでなく、難易度が高い専門科目の試験も受ける必要があります。私の場合、上級英語のテストを受けなければなりません。中学2年生からこの目標を明確に定め、どのようにTranPhu高校の英語クラスに合格できるかをよく研究したうえで、英語の勉強に努めてきました。結果は合格できました。

英語クラスに合格する喜びが徐々に薄れていくにつれて、私は迷ってしまいました。次何をすればよいだろうか、何の目標を設定すればよいだろうかという考えを持って、苦悩しました。結局、英語が上手いということはあくまで一つのスキルだけで、他の分野でも知識を深めるべきだと私は判断しました。銀行で働いて経営に興味深い父親の影響を受けて、私はだんだんマーケティング分野に興味を持つようになりました。その頃、ベトナムの経済はどんどん発展しており、色々な企業やブランドが次々と誕生し、市場での競争がま

ますます激しくなっていました。そうした環境の中で、私は「なぜ、この企業が成功したのか」「どのように、この商品が消費者にとって魅力のある存在になったのか」といった問題に強い興味を抱くようになりました。高校3年生のとき、大学進学を控え、進路について考えていた私は、同じアジアの経済を牽引する日本で、マーケティングについて専門的に学びたいと思いました。日本は、アニメや漫画などを通じて身近な存在であり、親しみを感じていたことも決め手となりました。

しかし、当時日本語を全く知らなかった私にとって、これはかなり大胆でリスクが高い決断でした。さらに、日本語は世界で最も難しい言語の1つとよく言われており、文字のシステムと文法は、私がよく知っている英語やベトナム語とまったく異なっていました。

その時、いつも私の能力を信じている父親は励ましてくれました。そして、これは英語以外の外国語も学ぶチャンスだと分かったので、勇気をもって日本語の勉強を始めました。「あ、い、う、え、お」の初級から日本語能力試験の「N1」をとれるまで3年間かかりました。もし日本ではなく、母国で日本語を学んでいたなら、そんなに順調に日本語をレベルアップできなかったはずでした。

英語の勉強とほぼ同じで、日本人の言葉の使い方を観察して、模倣することで日本語を学んでいます。英語の勉強と違うところは、「必要性」だと思います。日本語を学ぶときに、すごく強い「必要性」を感じています。なぜかという、日本で生活できる、日本の大学で勉強できる必要があるからです。

結論として、外国語をうまく学ぶためにはいろいろな要因があり、学ぶ人々によっても違います。それでも、明確な目的、ふさわしい方法、情熱と勤勉という四つの要因は欠かせないと思います。

3.最後のお礼

これで、私の外国語を学ぶプロセスの話は終わりになります。スピーチの最初で言った通り、今回は私の最後の例会になります。今週の土曜日(3月13日)に卒業式で、環太平洋大学を正式に卒業します。これから神戸大学大学院の研究生として、経営とマーケティングを研究し続けます。

この一年間、私は米山奨学生として、新しく貴重な経験を積む日々を過ごしました。そして、いつも岡山北西RCの皆様のお心遣いと支援を感じておりました。誠にありがとうございました。今後とも皆様のご健康と公益財団法人ロータリー米山記念奨学会、岡山北西RCの興隆をお祈り申し上げます。

ご清聴ありがとうございました。

米山奨学生カウンセラー 野田 洋市 会員

皆様のご支援を戴き、グエン ティ マイ フオンさんは、この3月に無事に環太平洋大学を卒業することが出来ました。例会に出席させていただくのは本日が最後になりました。

今後は神戸大学の研修生として神戸の方に行かれます。彼女は勉強して、いずれは日本で教育者になりたいという夢をもっています。必ずしも、彼女の希望通りとはいかなかったと思いますが彼女の夢には一歩、近付けたかなと思っています。

私は、この1年、カウンセラーとして大変貴重な経験をさせて戴き感謝申し上げます。グエンさんと接していると、日本人の若者が失いかけているような、努力、勤勉、忍耐、感謝、誠実、ひたむきさを感じました。かならずや日本とベトナムの価値ある架け橋になっていただけたことと確信いたします。又、推薦戴いた竹本会員に感謝申し上げます。

コロナの影響で例会が休会になったり、先月2月21日アークホテルでの米山奨学生歓送会までも中止となる等、十分なサポートが出来ず申し訳なかったと思いますが、メールの返信がすぐに返ってこない時などは、いつも病気かなと、心配ばかりしていましたので、今はなんとなくほっとしています。ベトナムの人口は9700万人で来年には1億人になるようです。何かのご縁で、勿論、米山奨学会のご縁でお会いできたことに感謝しています。万物は流転する。人生も有為転変です。出会いがあれば別れもあります。皆様のご支援に感謝し、今後のグエンさんのご活躍を祈念致します。



前回3月8日の例会記録

出席の状況

会 員 数	47名(内出席免除者 0名)	出席者数	37名
欠席者数	10名	出席率	78.72%
欠 席 者	福元, 入江, 橘高, 小菅, 楠, 三宅, 森本, 田原, 丹治, 氏房		

ゲ ス ト 米山奨学生 グエン ティ マイ フオン 様

会長報告

会 長 平 松 信

岡山北西RCの例会を再開させていただくことができましたこと、また多くの会員の方にご出席いただきまして心から感謝申し上げます。

2万人以上の方がお亡くなり、また行方不明になられた東日本大震災から10年が経ちました。2011年3月11日14時46分の震災の時に、岩本会員と一緒に東京タワーの見えるビルの21階で会合中でしたので、忘れることはできません。そして、被害を受けられた方々の辛いお気持ちが心にしみています。震災のすぐ後の2011年3月26日から4月1日までの日程で、国際ロータリー第2690地区の職業研修チーム(VTT)のリーダーとしてフィラデルフィアに派遣していただきました。現地のロータリアンとの交流として、Frankford-Northeast Philadelphia Rotary Clubの例会に訪問させていただきました。クラブ会長のMr. Thomas Finnegan, 副会長のMs. Margaret Kelly はじめ、会員の方から暖かく迎えていただきました。そして東日本大震災に対しての米国をはじめ世界中からの見舞いとご支援に感謝申し上げます。

それから今は、世界中の新型コロナウイルス感染にて、多くの人々が苦しい思いをされています。新型コロナウイルスの感染が過去最大となったことから、本年1月18日の例会をもって休会といたしました。その翌日の1月19日に、第28代会長の大饗よし江様がご逝去されました。ご長女の大饗千鶴様は、岡山西南RCに昨年から入会されています。次週の当クラブの例会にゲストとしてお迎えする予定です。

岡山北西RC創立30周年記念式典につきまして、堀川実行委員長をはじめとする実行委員会の提案に会員の方の賛同



を得ましたことから、2022年に延期することを決定させていただきました。今後の例会は、予定されていたプログラムが大きく変更になりますことを深くお詫び申し上げます。延期となっています京都朱雀RCとの合同例会の時期も検討させていただきます。

岡山北西RCのクラブ協議会代替レポートを、鈴木一生幹事が提出いたしました。それについて、国際ロータリー第2690地区第9グループガバナー補佐川本平山様から講評をいただきました。

「貴クラブを訪問して、クラブ・アッセンブリー(クラブ協議会)の場で、会長、幹事、各委員長の皆さんから、直接前半の纏めと後半にむけての取り組みの要点をお聞きするところでありましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大により、例会の開催の見通しがつかない事態となりました。今年度前期のクラブ状況について丁寧に報告いただきまして誠にありがとうございました。」

そして、当クラブの前期活動報告の各論(委員会活動)に講評をいただきまして、まとめとして次のように掲載されています。
「新型コロナウイルス感染症の蔓延した大変厳しい環境の中で、多くの活動計画とともに貴重な活動実績を拝見させていただきました。これらの中には、新型コロナウイルスのためにやむなく中止せざるを得なくなった計画も多く見受けられ、今年度のロータリー活動がいかにか大きく制約を受けたかを歴然と読み取ることができました。この状況は後期になって急激に改善されるとは思われませんが、クラブ会長年度として残された時間内に、未解決のクラブの問題があればその解決、そして未達成の地区年度の目標等の達成に向けての取り組みを期待しています。」

以上のガバナー補佐の指導に従って、会員の皆様とともに後期のあり方を考えていきたいと思います。

本日、米山奨学生グエン ティ マイ フオン様にご挨拶をさせていただきます。お世話をいただきました野田洋市会員に、ロータリー米山記念奨学会齋藤直美理事長より感謝状が届いています。

岡山北西RCの2020年～2021年度クラブ運営方針における目標の第一に、新型コロナウイルス対策を掲げてきました。お互いにこころの扉を開き、この苦難を乗り越えるために、こころの中で手に手つないで、ともに歩んでいけていますことを嬉しく思っております。引き続き、皆様のご指導ご鞭撻を何卒よろしくお願い申し上げます。

幹事報告

幹事 鈴木 一生

- ① 米山記念奨学会より野田会員に米山奨学生カウンセラーの感謝状が届いております。
- ② ガバナー月信Vol.8・9、ロータリーの友2月号・3月号、抜萃のつづりを配付しております。
- ③ 本日例会終了後、13:30より、3F「トパーズの間」において、「第4回被選理事役員会」が開催されますので、次年度理事役員の皆様はよろしく願いいたします。
- ④ 2月理事役員会にて、小松忠男会員が次年度IM実行委員長として承認されております。
- ⑤ 財団室NEWS2月号・3月号、ハイライトよねやまVol.251、盲導犬くらぶ会報第101号、他クラブ週報を回覧いたします。



スマイル報告

平松会長：岡山北西RCの例会を再開できましたこと、そして会員の皆様とお会いできましたことに心から感謝申し上げます。

グエン・ティ・マイ・フオン様の夢多き未来をお祈り申し上げます。

鈴木幹事：久しぶりの例会となりました。早くコロナ騒動が落ち着く事を願います。

相原副会長：例会の再開と皆様にお会いできたことを嬉しく思います。

原 会員：2月23日のあした彩との合同勉強会にご参加の皆様ありがとうございました。今回は例会休会中のため社会奉仕・青少年奉仕委員会での対応となりましたが会員皆様のご理解・ご協力により開催できましたこと心より感謝申し上げます。

久松会員：皆様、お久しぶりでございます。先日、梅を見に行きました。人出は少なかったですが、例年通り綺麗に咲いていました。少し自由な気分を味わいました。花粉症にも負けず、聞きとりやすくスムーズな進行に努めてまいります。よろしくお願いいたします。

花房会員：大饗さんのご冥福を心よりお祈り申し上げます。亡くなられる前日の例会での会話が最後になりました。

西岡会員：久しぶりの例会にスマイル！

野田会員：例会の再開とグエン・ティ・マイ・フオンさんの前途を祝します。

大饗さんのご冥福をお祈りいたします。

竹本会員：会員皆様、お久しぶりでございます。例会が再開出来た事に感謝してスマイルいたします。

山下会員：久しぶりに皆様とお会い出来ましたのでスマイルします。

元気に息子が発熱外来をやってくれています。

日笠(常)会員：大饗様のご逝去をお悔やみ申し上げます。

還暦のお祝いありがとうございました。

11件41,000円(累計864,035円)

クラブ情報

創立30周年記念式典実行委員会

委員長 堀 川 辰 也

創立30周年記念式典の一年延期が前回の委員会で決定いたしました。今後新たな日程を設定し、ご案内をお渡しいたします。



例会情報

本日のメニュー (3月15日)

本日のお魚のポッシュ 蕪のソース、じゃがいもといんげんのサラダ、白ゴマのブランマンジェ、パン、コーヒー

次回のメニュー (3月22日(ミリオンダラーミール))

御寿司 桜鱈ちらし寿司 桜鱈、玉子焼、いくら醤油漬、焼雲丹、アボカド、大葉、胡麻、木の芽

平 皿 桜海老かき揚げ 桜海老、さつまいも、三つ葉、玉葱、檸檬

御吸物 白魚玉子とじ、菜の花、黒胡椒

水菓子 オレンジ、林檎ジュレ、桜餅、ミント葉



前回メニュー(3月8日) : 桜鱈黄韭建長焼